

平成 29 年度「佐渡市男女共同参画実態調査（事業所アンケート）」結果

1. 調査目的

市内事業所における男女共同参画の実態を把握し、今後、佐渡市において働き方改革や女性就業率の向上を目指していくうえで、解決すべき課題の掘り起こしを行うとともに、仕事と家庭生活の調和や、女性が一層活躍できる環境づくりに向けた支援などの施策に役立てるために実施。

2. 調査内容

- (1)事業所の概要について
- (2)女性の積極的活用について
- (3)従業員の育児・介護との両立支援について
- (4)男女がともに働きやすい職場環境づくりについて

3. 調査対象 市内 3,372 事業所

4. 回収率 24.6% (828 事業所/3,372 事業所)

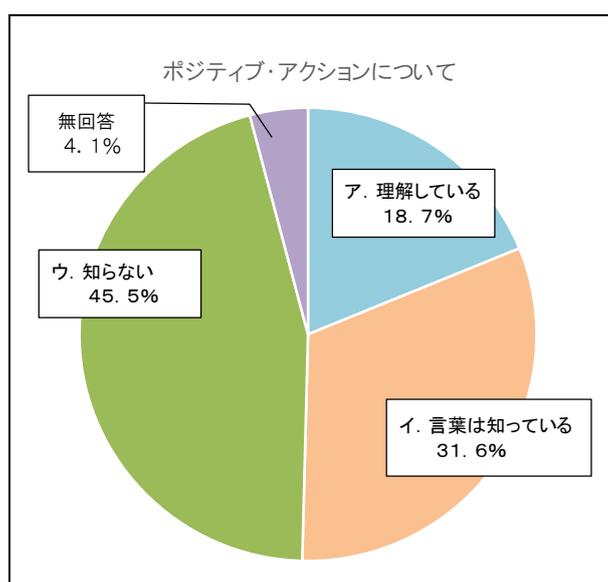
□係長以上の管理職及び女性管理職は何人いますか。

区 分	事業所数	比率
女性役員・事業主と女性管理職(係長級以上)がいる	33	4.0%
女性役員・事業主はいるが、女性管理職(係長級以上)がいない	192	23.2%
女性役員・事業主はいないが、女性管理職(係長級以上)がいる	118	14.3%
両方いない	331	40.0%
無回答	154	18.6%
合 計	828	100.0%

区 分	人 数(人)	
	役員・事業主	うち女性(人)
役員・事業主	1,136	286
管理職(係長級以上)	1,292	345
合 計	2,428	631
女性管理職の割合	26.0%	

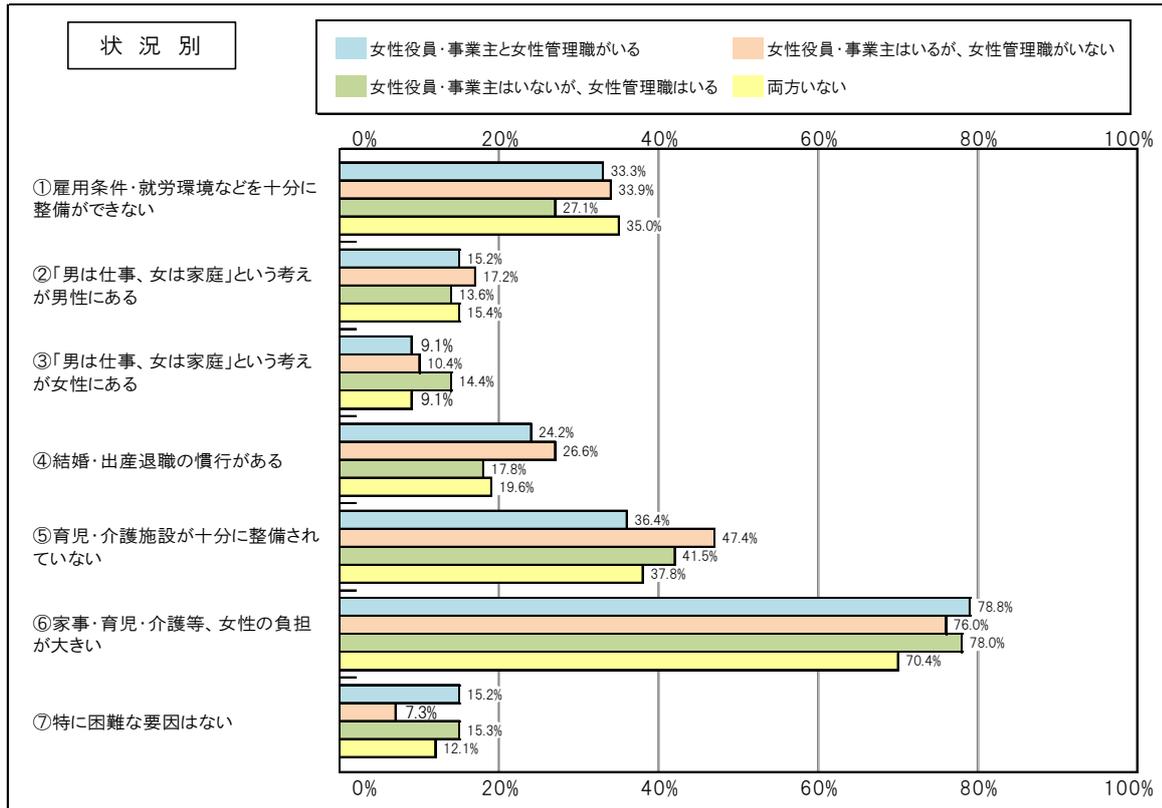
係長級から部長級までは役職があがるごとに女性の割合が低くなっている。

□ポジティブ・アクション（女性社員の活躍推進）について知っていますか。



ポジティブ・アクションという言葉について、「知らない」人は、全体の 45.5%と高い。

□一般的に女性の継続した雇用を困難にしている要因は、どのようなところにあると思いますか。



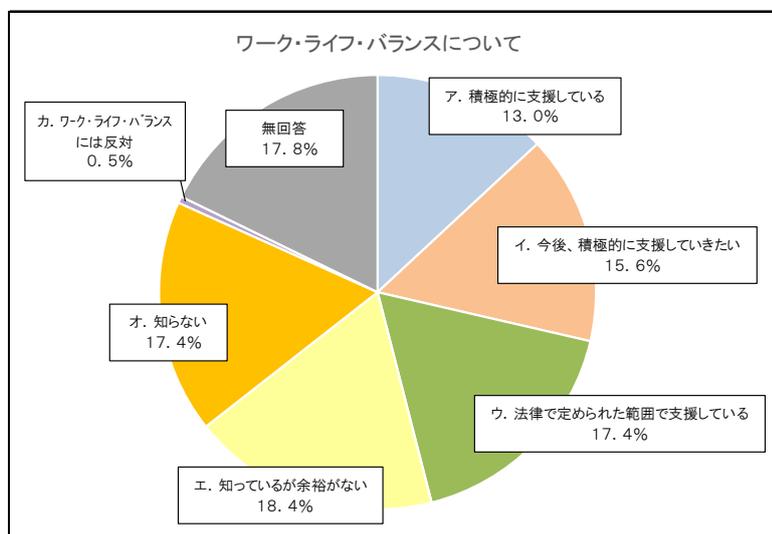
家事・育児・介護等、女性の負担が大きいという回答が最も多かった。

□妊娠、出産、育児、介護を理由に退職した従業員を対象とした再雇用制度がありますか。

再雇用制度	件数	件数
ある	149	18.0%
ない	447	54.0%
検討中	98	11.8%
無回答	134	16.2%

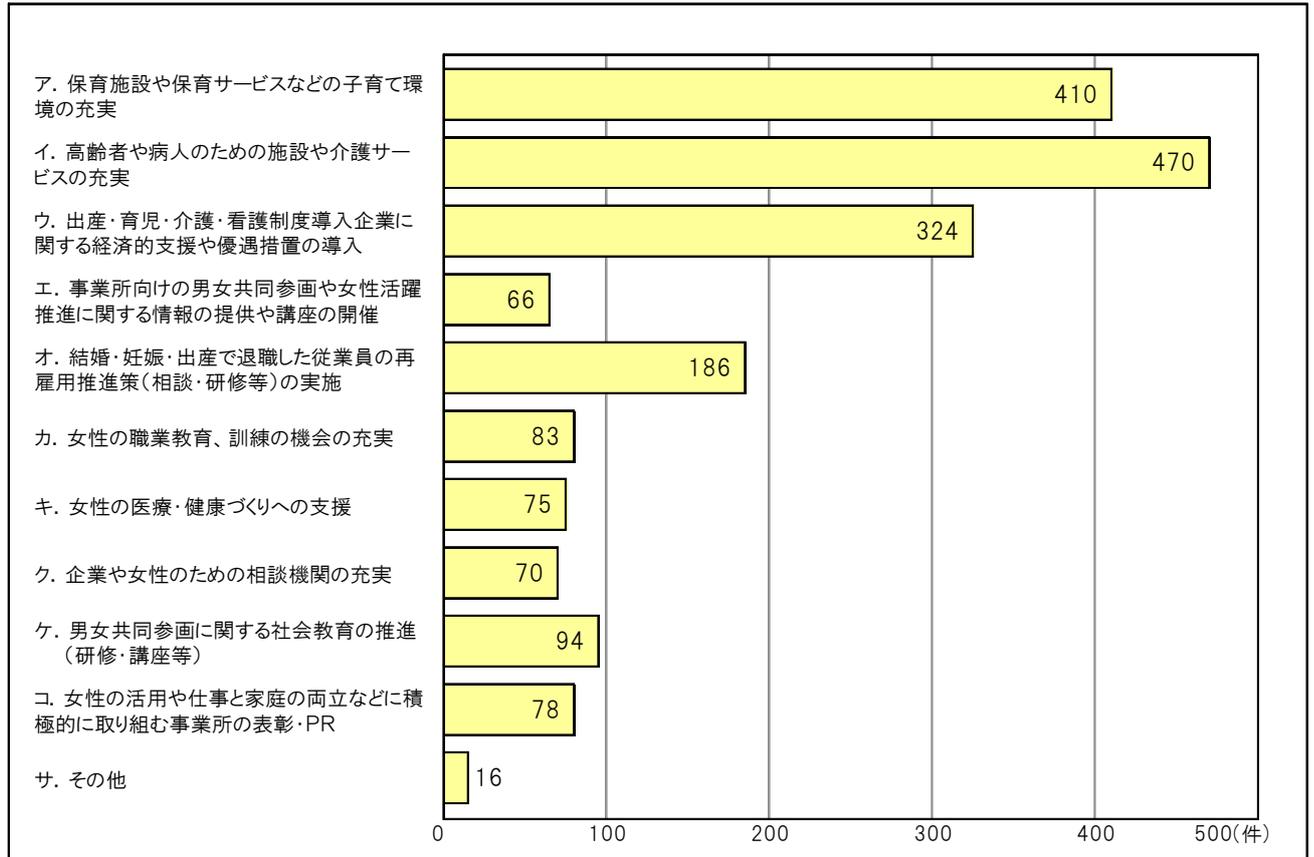
「ない」が過半数を占めている。
検討中を含めると65%。

□ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてどのように考えていますか。



従業員数の少ない事業所の回答にワーク・ライフ・バランスについて「知らない」が多かった。

□職場における男女共同参画の推進について、市の事業や政策にどのようなことを望まれますか。



保育・介護サービスの充実のほか、制度導入企業への優遇措置などの施策を求める声が多かった。